



平成29年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 東京都千代田区永田町二丁目11番1号  
アルコニックス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 正木 英逸  
(コード: 3036 東証第一部)  
問合せ先 取締役常務執行役員 宮崎 泰  
財務本部長

TEL 03-3596-7400

## 中期経営計画策定のお知らせ

当社は、平成30年3月期を初年度とする平成32年3月期までの3年間の中期経営計画を策定しましたのでお知らせいたします。

当社は引続き、経営を取り巻く情勢の変化にスピーディーに対応するため、一年毎に経営計画を見直し、ローリングする方針としております。

### 1. 全体戦略

当社グループは、次の方針を掲げ「商社機能と製造業を融合した非鉄金属の総合企業」を目指してまいります。

- (1) 業容拡大のため川上、川中、川下のM&Aの推進、及び新規事業投資案件の発掘・推進に努めます。特に製造業へのM&A及び事業投資にプライオリティを置き、収益における製造業部分の比率を高めます。
- (2) 日本企業が世界をリードする電子・機能材分野にて、その原料となるレアメタルの取扱いを含め、更なる業容拡大を目指します。
- (3) アルコニックスグループの商いの基盤を成すアルミ・銅分野の維持・拡大に努めます。
- (4) 環境問題に対応した国内外でのリサイクル分野の強化を図ります。
- (5) 海外ネットワークをさらに充実させ、顧客のニーズに応えるとともに、地場取引や三国間取引を増やすべく商社機能を発揮します。

### 2. 経営目標 (数値目標は計画の最終年度である平成32年3月期の目標値)

経常利益100億円、時価総額500億円企業をできるだけ早期に実現するべく、今中期経営計画において次の数値目標の達成に努めます。

利 益 目 標	経 常 利 益	65億円超 (平成30年3月期見通し 49億円)
	当 期 純 利 益 (親会社株主に帰属する当期純利益)	47億円超 (平成30年3月期見通し 34億円)
経 営 指 標	ROE	13~15%程度
	NET DER	1.0~1.3倍程度
投資計画	3年間で250億円 ※対象: M&A、事業投資、設備投資	

※詳しくは、添付資料をご参照ください。

以 上

# 中期経営計画

## 2018年3月期～2020年3月期の3カ年計画

事業環境の変化に迅速に対応し、よりスピーディーな意思決定を図るため  
期間を3年とする1年毎更新のローリング方式を採用

Copyright ©2017 ALCONIX CORPORATION All Rights Reserved

### 中期経営計画の全体像

中期経営計画

#### アルコニックグループのビジョン

商社機能と製造業を融合した非鉄金属の総合企業を目指す

#### 経営方針

- M&A／新規事業投資▶業容拡大と商流開拓による持続的成長
- 電子・機能材▶日本が世界をリードする分野での更なる拡大
- アルミ・銅▶アルコニックのルーツである商流の維持拡大
- リサイクル事業▶環境分野への対応強化
- 海外展開／地場取引・三國間取引▶海外ネットワークの拡充

#### 5つのアクションプラン

##### 営業収益力の強化

「商社機能と製造業のシナジー」  
「電子材料分野」「海外事業展開」

##### 投資案件の推進

「製造業を中心としたM&A」  
「事業投融資」「設備投資」

##### 財務体質の強化

「自己資本比率向上」  
「資金流動性の確保と  
資金コストの低減」

##### 人的資源の強化

「優秀な人材の確保と  
人材育成」

「インフラ整備及び  
内部統制の充実・強化」

Copyright ©2017 ALCONIX CORPORATION All Rights Reserved

## 数値目標 (最終年度: 2020年3月末)

中期経営計画

### 利益目標

連結経常利益: 65億円超 (2020年3月期)



親会社株主に帰属する: 46億円超 (2020年3月期)



### 経営指標

ROE: 13~15%程度 (2020年3月期)



NET DER: 1.0~1.3倍程度 (2020年3月期)



### 投融资計画

3年間で250億円

対象: M&A/事業投資/設備投資純増額 (設備投資 - 償却額)

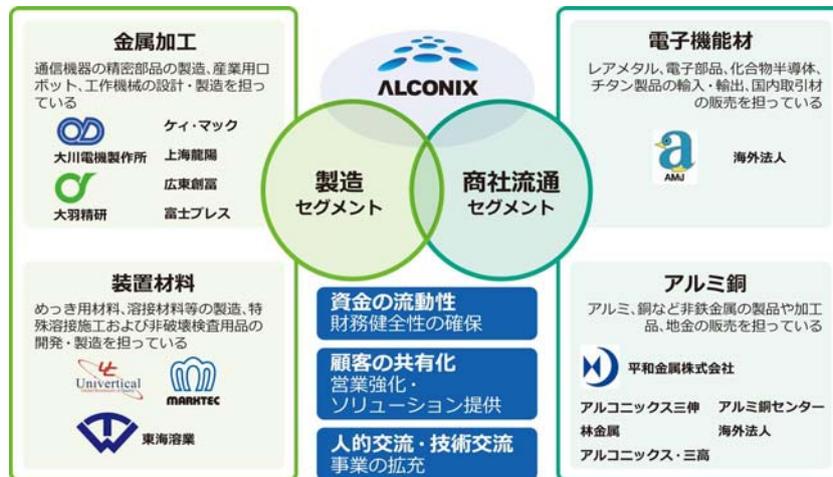
Copyright ©2017 ALCONIX CORPORATION All Rights Reserved

## 営業収益力の強化-① | 2分野のシナジー効果の最大化を追求

アクションプラン/中期経営計画

### 点から面へ

当社と、それぞれ単独で存在していた連結子会社を「面と面」で結び有機的な組織を構築することで生み出される「商社流通と製造業のシナジー」により営業収益力の飛躍的なアップを目指す。



Copyright ©2017 ALCONIX CORPORATION All Rights Reserved

アルコニックス本体の電子機能材事業と連結子会社AMJがビジネス展開

原料（レアメタル・レアアース）から製品（電子材料・機能性材料）までを網羅したビジネスを展開。自動車、家電、半導体・IT分野と幅広い分野においてコア素材から環境対応材料まで多目的で使用される。



Copyright ©2017 ALCONIX CORPORATION All Rights Reserved

アルコニックス本体、連結子会社のAMJ、及び海外法人がエリア拡大推進

海外ネットワーク

当社の特長  
貿易比率が高い  
輸出入・三国間取引の増大

海外11法人 16拠点

1 地場取引拡大

現地進出の日系企業及び  
現地企業との地場取引拡大

上海法人の下に北京、広州、深センに支店  
を設置し中国全土の販売網拡充

2 三国間ビジネスを拡大

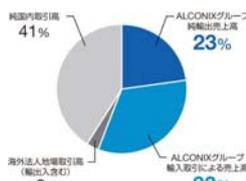
海外店間の取引拡大

AMJのシンガポール法人がレアメタルを中心に海外取引を展開

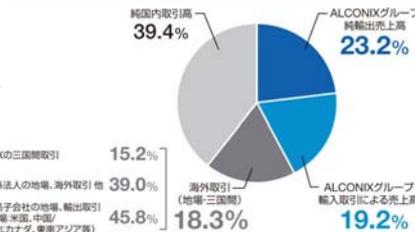
3 海外拠点の拡大を展開

海外ネットワーク充実のためメキシコ・  
インドネシア・インドなどに拠点設立を検討

形態別売上高比率 (連結 2011年3月期)



形態別売上高比率 (連結 2017年3月期)



Copyright ©2017 ALCONIX CORPORATION All Rights Reserved

## 投資案件の推進-① | 実績

アクションプラン/中期経営計画

短期間での業容拡大に有効なM&A、新たな商流を創出するための金属加工・販売事業等への事業投資及びリサイクルを含む資源確保のための投資を重点施策として推進。

### M&Aで獲得した主要連結子会社



●アドバンスマテリアルジャパン  
(商社流通-電子機能材  
2004年1月)



●平和金属  
(商社流通-アルミ銅  
2015年10月)



●UNIVERTICAL HOLDINGS INC.  
(製造-装飾材料  
2012年12月)



●大羽精研  
(製造-金属加工 2013年5月)

M&A実績15件 (製造に対するM&A6件 商社流通に対するM&A9件)

### 主要関係会社 (持分法適用関連会社他)

●ケイ・マック (20%出資 2014年4月)  
製造-金属加工事業  
製造製品: 住宅建設資材、自動車関連部品 等

●広東創富金属制造有限公司 (35%出資 2012年9月)  
製造-金属加工事業  
製造製品: 自動車、家電向け金属加工部品の製造

その他国内外において29件に出資、当社の関連会社、出資会社として事業の創出、業容拡大に貢献

\*( )の年月は連結子会社化した年、出資した年

Copyright ©2017 ALCONIX CORPORATION All Rights Reserved

## 投資案件の推進-② | 計画

アクションプラン/中期経営計画

●3年間でM&Aを中心に**250億円の投融資を計画**

●投下資本利益率 (ROIC) : **10%を目標**

### 2017年度計画

#### M&A

- 富士プレスのM&A (2017/4/5株式取得 PMIの開始)
- 製造業への出資、M&Aの推進
- 製造子会社の業容拡大に寄与する製造子会社自身による中小製造業へのM&Aも推進
- その他M&Aの推進 (川上: 製造業以外にリサイクルセンター等を含む 川中: 商社 川下: 問屋、小売り)

#### 事業投資 (投融資)

- 海外でのベースメタル、レアメタルのリサイクル事業及びレアアースの資源開発事業への投融資
- 中国における自動車向けアルミブランクング製品販売合併会社の設立及び出資

#### 設備投資

- 製造子会社における設備拡張投資



Copyright ©2017 ALCONIX CORPORATION All Rights Reserved

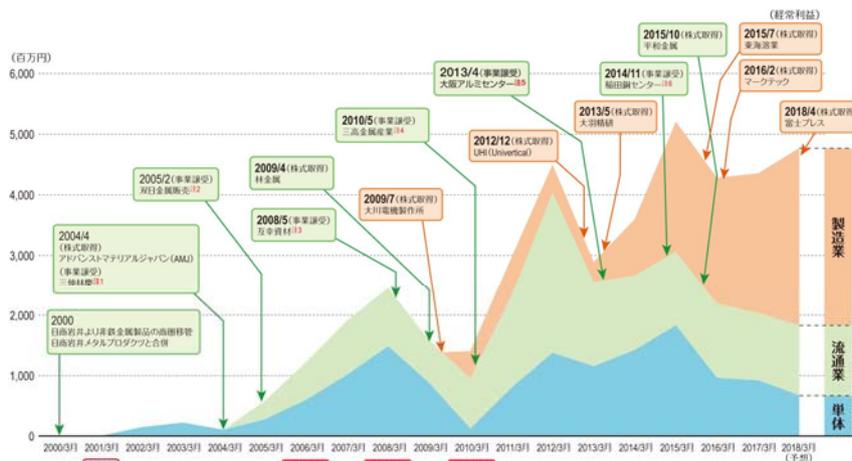
当社のM&Aの目的とその取組・効果

- **オルガナイザーとしての役割**  
M&Aを企画・実行し、有機的にグループ統合するオルガナイザーとして製造業を中心としたM&Aを推進。また当社の営業力とグローバルネットワークをフルに活用した新たな商流の開拓。
- **製造業の再編**  
日本の優れた技術力を持つ製造業を再編し、ニッチでありながら競争力のある製品を成長製品としてグローバルマーケットで拡販。
- **継承した事業による連結業績への貢献**  
M&Aにより生産設備・社員を全て継承し、アルコニックスのネットワーク並びにリソースと自社独自の優位性を融合し新たな生産活動を展開することにより連結収益に貢献。



Copyright ©2017 ALCONIX CORPORATION All Rights Reserved

経常利益でみる事業構造の変化と成長



(注) 1 三井物産は事業譲受後、当社の三井物産部としてスタート。  
その後2008年に分社化し、アルコニックス三井を設立。  
2 列島金属販売は当社非鉄金属材料本部材料部としてスタート。  
3 五幸資材はアルコニックス三井によるM&Aで札幌支店五幸資材営業部として設立。  
4 三高金属産業の事業譲受後、当社が設立したアルコニックス三井に承継。  
5 大阪アルミセンターは2014年に「アルミ鋼センター」に社名変更。  
6 輸出鋼センターは、アルミ鋼センターの北九州支店として営業開始。  
7 製造業M&Aには持分法適用関連会社を含む。  
8 2017/2月には単体のみで経常損失。

Copyright ©2017 ALCONIX CORPORATION All Rights Reserved

製造業が業績に与えるインパクト

製造業の強みである安定した収益基盤をテコにアルコニクスグループの独自色の強い事業を創出するとともに、ニッチでありながら優位性が高い当社グループの「金属加工」と「装置材料」の各事業分野において市場競争力アップと連結収益の更なる向上を目指す。

■ 製造業比率(売上高)



■ 製造業比率(経常利益)



(注) 1. 当該数値はグループ主要製造工会社5社及び特分法適用関連会社を対象に算出  
2. 売上高は連結子会社各社の数値であり、経常利益は特分法適用関連会社の持分利益を含む。

Copyright ©2017 ALCONIX CORPORATION All Rights Reserved

財務・人的資源・インフラ

財務体質の強化

- ・収益力の強化による自己資本比率向上等財務比率の改善推進
- ・資金調達手段の多様化による、流動性確保と資金コストの低減
- ・運転資金適正化によるフリーキャッシュフローの黒字化定着



人的資源の強化

- ・新卒・中途採用双方を活用した優秀な人材の確保と社内教育の充実
- ・当社人事理念であるProfessional、Challenging、Cooperativeな人材育成推進



インフラ整備及び内部統制の充実・強化

- ・基幹システムの有効活用とスピード感あふれる内部統制の充実
- ・当社グループの会計制度整備とレベルアップ
- ・連結子会社等の増加・多様化に対応した管理体制の強化
- ・適時開示体制の徹底と、コンプライアンス教育のグループ全体への浸透

Copyright ©2017 ALCONIX CORPORATION All Rights Reserved

## アルコニックスグループの強み

アクションプラン/中期経営計画

### アルコニックスを中心とした、 需要と供給を結ぶ 強力なオルガナイザー機能

アルコニックスグループは、川上(製造・リサイクル)から川中(商社)、川下(問屋)までの全てを網羅する「商社機能と製造業を融合した非鉄金属の総合企業」

### 投下資本利益率を堅持するM&A

● 15件のM&A(6件の製造業、9件の流通業)

広範な事業投資先を持つ(戦略に基づく事業領域拡大)を変更「ニッチでありながら高い競争力、生産設備を保有する製造子会社を筆頭に、商社、問屋まで充実したグループを形成

### 電子材料向けのレア メタル・レアアースで トップクラスの実績

金属チタン、タングステン化合物、レアアースではトップクラスの輸入量を誇る。その他マーケットシェアが高い電子・機能材料の取扱いがラインナップ。

### 強固な海外ネット ワークを持つ

● 海外11法人 16拠点

自社の海外子会社及び委託海外店によって形成。中国、東南アジア、ヨーロッパ、北米に海外現地法人を構え海外地場取引を展開。グループ製造子会社が北米、中国、東南アジアに製造拠点をもち独自の販売ルートを確立。

### キャリア豊富な 人材を抱える

Copyright ©2017 ALCONIX CORPORATION All Rights Reserved



本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。